

(2015.2) 川崎市庁舎前の電光掲示盤について

川崎市役所本庁舎前に、SO₂(イオウ酸化物)、NO₂(窒素酸化物)による空気の汚れを市民に知らせる電光掲示盤が1971年4月から設置されていました。

当時の議会記録を見ると、大気汚染が激甚であった川崎市において、その根絶を市長が先頭に立って解決していく決意の表れである旨が記されています。

2012年3月「公害・患者会」は、電光掲示盤の内容に、今日的課題であるPM_{2.5}(微小粒子状物質)を加えるよう要請し、話し合いが継続していました。

あれ！電光掲示盤がない

その矢先に何の説明もなく、2013年1月に電光掲示盤が撤去されてしまいました。

当時の環境局長が話し合いに出席し、この経過を認めただうえで、一方的に撤去したことに頭を下げ、謝罪し、設置の方向で話し合いが再開されました。

川崎市から設置の提案

川崎市からの提案として、表示版の大きさ・機能や設置場所を新しく第3庁舎前の柱で、表示内容は、大気汚染状況にプラス市の広報内容も表示するとし、総額3千万円との説明があり、本庁舎前の再設置を求める「患者会」に合意を求めてきました。(2014年3月)

提案を突然撤回？

ところが、2014年6月の交渉で「患者会」が市の提案を受け入れると回答すると、市側はその提案を突然撤回し、環境局長の交代を理由にこれまでの話し合いの到達点を反古にしてきました。

川崎市の態度変更直面し、再三の交渉申し入れに対して「話すことはない」と交渉を拒否しています。

なお、現在の状況は市役所第3庁舎の警備室前の屋内テレビとTVKのインターネットで見れますが、大気汚染状況や光化学スモッグ注意報発令は通行中や屋外でいつでも知ることが出来るほうが良いのではないのでしょうか。

川崎・公害をなくす会

田辺秀雄